

公立高等学校配置計画

(平成24年度～26年度)

平成 2 3 年 9 月

北海道教育委員会

目 次

I 公立高等学校配置計画（平成24年度～26年度）策定の考え方

1 趣旨	1
2 中学校卒業生数の見込み	1
3 基本的考え方	1
4 配置計画（平成24年度～26年度）の概要	2
5 配置計画の変更	3

II 公立高等学校配置計画（平成24年度～26年度）内容

1 中学校卒業生数	4
2 欠員の状況	4
3 定員及び中学校卒業生に対する割合	4
4 配置計画（平成24年度～26年度）の学校別内訳	5
5 中学校卒業生の推計及び推移	9

III 公立高等学校配置計画（平成24年度～26年度）学区別個表

空知南学区	11
空知北学区	12
石狩学区	13
後志学区	15
胆振西学区	16
胆振東学区	17
日高学区	18
渡島学区	19
檜山学区	20
上川南学区	21
上川北学区	22
留萌学区	23
宗谷学区	24
オホーツク中学区	25
オホーツク東学区	26
オホーツク西学区	27
十勝学区	28
釧路学区	29
根室学区	30

I 公立高等学校配置計画（平成24年度～26年度）策定の考え方

1 趣旨

「公立高等学校配置計画」（以下、「配置計画」という。）は、高等学校進学希望者数に見合った定員を確保することを基本として、中学校卒業者数（以下、「中卒者数」という。）の状況を踏まえ、生徒の多様な学習ニーズ、進路動向などに対応した学校・学科の配置や規模の適正化を図るために、平成24年度から平成26年度までの高校配置の計画を策定するとともに、平成27年度から平成30年度までの見通しを示したものである。

2 中卒者数の見込み

本道の中卒者数は、平成24年に4万8,845人、平成25年に4万7,947人、平成26年に4万7,460人となる見込みであり、その後も総じて減少傾向にある。

3 基本的考え方

配置計画の策定に当たっては、平成18年に策定した「新たな高校教育に関する指針」（以下、「新たな指針」という。）に基づき、中卒者数の増減に適切に対応し、教育水準の維持向上などを行う観点から、地域の実情、私立高校の配置状況等を考慮しながら定員の調整や学校の再編整備等を行うとともに、都市部において複数の高校が設置されている場合、望ましい規模の学校についても、地域の実情などに応じて再編整備を実施する。

また、生徒の多様な学習ニーズに対応するため、次のとおり新しい高校づくり等を推進する。

(1) 地域キャンパス校の導入

他の高校への通学が困難な地域を抱え、かつ地元からの進学率が高い（普通科はおよそ1/2、専門学科はおよそ1/4）第1学年1学級の高校を地域キャンパス校とし、センター校からの出張授業や通信機器を活用した教育活動への支援等により、教育環境の充実を図る。

(2) 総合学科の設置

生徒の多様な能力・適性、興味・関心、進路希望等に応じて、普通教育と専門教育に関する多様な科目を選択して学ぶことができ、幅広い進路希望に対応が可能となる総合学科の設置を再編にあわせて進める。

(3) 普通科単位制の導入

学年による教育課程の区分を設けず、高校の生徒が必ず学ばなければならない科目のほか、学校が開設した多数の選択科目の中から、興味・関心や進路希望等に応じて自分で科目を選択し、主体的な学習が可能となる単位制の導入を進める。

(4) フィールド制の導入

普通科の特色づくりとして、まとまりのある分野の科目群をフィールドとして設定し、興味・関心や進路希望等に応じて自分でフィールドを選択して学習することが可能となるフィールド制の導入を進める。

(5) 職業学科の学科転換

産業構造の変化や学科の配置状況、生徒の進路動向などを考慮し、職業学科の学科転換を図る。

(6) 産業キャンパスの活用

職業学科を含めた再編の際にあわせ、産業教育施設や実習地などを有効に活用するため、産業キャンパス化について検討する。

4 配置計画（平成24年度～26年度）の概要

昨年決定した平成24年度及び平成25年度の計画を一部変更するとともに、新たに平成26年度の配置計画を策定する。

(1) 学級定員

「公立高等学校の適正配置及び教職員定数の標準等に関する法律」に基づき、1学級の定員は40人とする。

(2) 平成24年度～25年度（平成22年度決定）高校配置計画の変更

全日制課程

ア 学級増減

平成23年度の入学者選抜の結果、第2次募集後の入学者に1学級相当以上の欠員が生じ、学級減を行った余市紅志高校、松前高校、森高校、足寄高校及び標茶高校について、中卒者数の状況等を総合的に勘案し、平成24年度にそれぞれ1学級の増を行う。

また、土別翔雲高校について、中卒者数の状況等を総合的に勘案し、平成24年度に普通科の1学級の増を行う。

イ 新設

平成24年度に三笠市が三笠高校（食物調理科）を設置する。

ウ 地域キャンパス校の導入

今後の中卒者数の状況などを考慮し、平成24年度から新たに津別高校を地域キャンパス校とする。

エ その他

平成23年度の入学者選抜の結果、第2次募集後の入学者に1学級相当以上の欠員が生じ、1学級減を行った新得高校について、平成25年度の1学級の減を行わない。

また、岩見沢東高校について、平成24年度に空知南学区所在の私立高校が募集停止となること等を考慮し、平成25年度の1学級の減を行わない。

(3) 平成26年度高校配置計画

ア 全日制課程

(ア) 学級増減

各通学区域内の中卒者数を基礎として、生徒の進路動向や学校・学科の配置状況、各学校の在籍状況などを総合的に勘案し、7校で7学級の減を行う。

(イ) 再編整備

地域キャンパス校である熊石高校について、5月1日現在の第1学年の在籍者が20人未満となり、その後も生徒数の増が見込まれないことなどから、募集停止とする。

イ 定時制課程

旭川工業高校において、5月1日現在の第1学年の在籍者が10人未満となり、その後も生徒数の増が見込まれない土木科を建築科と再編し、学科転換を行う。

5 配置計画の変更

配置計画を策定した後、急激な中卒者数の増減や生徒の進路動向に大きな変動が生じた場合など、通学区域における中卒者の進路動向等を見極めて、毎年度再検討するほか、次の(1)～(3)に掲げる場合にあっては配置計画を変更することとする。

- (1) 入学者選抜における第2次募集の合格発表後、配置計画で示した募集人員に対し1学級相当以上の欠員が生じた場合。
- (2) 5月1日現在の第1学年の在籍者が新たな指針に示した人数要件に該当し、その後も生徒数の増が見込まれない場合。
- (3) 市町村立高校について、当該市町村において募集人員等の変更を行った場合。

II 公立高等学校配置計画（平成24年度～26年度）内容

1 中学校卒業生数

平成23年（実績）	48,778人	（対前年比 2,659人減少）
平成24年（推計）	48,845人	（対前年比 67人増加）
平成25年（推計）	47,947人	（対前年比 898人減少）
平成26年（推計）	47,460人	（対前年比 487人減少）

2 欠員の状況（平成23年5月1日現在）

公立高等学校全日制	公立高等学校定時制	私立高等学校	合計
2,271人（144人）	1,069人（174人）	2,286人（-215人）	5,626人（103人）

※（ ）は対前年増減

3 定員及び中学校卒業生に対する割合

区 分		公 立			高等専門学校	私立	計	
		全日制	定時制	中等教育学校				
平成 23 年度	定 員（人）	37,140	2,640	80	760	12,300	52,920	
	割 合（％）	76.1	5.4	0.2	1.6	25.2	108.5	
公立 高 等 学 校 配 置 計 画	平成 24 年度	学級増（人）	240	0	0	0	0	240
		学級減（人）	-40	0	0	0	-30	-70
		新 設（人）	200	0	0	0	0	200
		募集停止（人）	-200	0	0	0	-180	-380
		差引増減（人）	200	0	0	0	-210	-10
		定 員（人）	37,340	2,640	80	760	12,090	52,910
		割 合（％）	76.4	5.4	0.2	1.6	24.8	108.3
平成 25 年度	学級増（人）	80	0	0	0	0	80	
	学級減（人）	-160	0	0	0	0	-160	
	新 設（人）	320	0	0	0	0	320	
	募集停止（人）	-640	0	0	0	0	-640	
	差引増減（人）	-400	0	0	0	0	-400	
	定 員（人）	36,940	2,640	80	760	12,090	52,510	
	割 合（％）	77.0	5.5	0.2	1.6	25.2	109.5	
平成 26 年度	学級増（人）	0	0	0	0	0	0	
	学級減（人）	-280	-40	0	0	0	-320	
	新 設（人）	0	0	0	0	0	0	
	募集停止（人）	-40	0	0	0	0	-40	
	差引増減（人）	-320	-40	0	0	0	-360	
	定 員（人）	36,620	2,600	80	760	12,090	52,150	
	割 合（％）	77.2	5.5	0.2	1.6	25.5	109.9	

* 1 高等専門学校の定員については、平成24年度分のみ決定済み。

私立の定員については、平成24年度分（見込み）を記載。

* 2 浜中町立霧多布高校は、平成23年度から、2学級60人定員としている。

4 配置計画（平成24年度～26年度）の学校別内訳

◎ 平成23年度入学者選抜における第2次募集後の学級減

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H23	空知南	道	美唄尚栄	全	総合	5	4	-1	5学級→4学級
	後志	道	余市紅志	全	総合	4	2	-2	4学級→2学級
	渡島	道	松前	全	普通	2	1	-1	2学級→1学級
		道	森	全	総合	4	3	-1	4学級→3学級
	オホーツク中	道	津別	全	普通	2	1	-1	2学級→1学級
	オホーツク東	道	女満別	全	普通	2	1	-1	2学級→1学級
	オホーツク西	道	雄武	全	普通	2	1	-1	2学級→1学級
	十勝	道	新得	全	普通	2	1	-1	2学級→1学級
道		足寄	全	普通	2	1	-1	2学級→1学級	
釧路	道	標茶	全	総合	3	2	-1	3学級→2学級	
計			10校					-11 (-440)	

◎ 平成24～26年度高校配置計画／全日制課程

(1) 学級増減

① 学級増(学校名の前の※印は、平成22年度に決定した配置計画からの変更。)

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H24	後志	道	※余市紅志	全	総合	2	3	+1	2学級→3学級
	渡島	道	※松前	全	普通	1	2	+1	1学級→2学級
		道	※森	全	総合	3	4	+1	3学級→4学級
	上川北	道	※土別翔雲	全	普通	3	4	+1	4学級→5学級
	十勝	道	※足寄	全	普通	1	2	+1	1学級→2学級
	釧路	道	※標茶	全	総合	2	3	+1	2学級→3学級
(小計)			6校					+6	
H25	石狩	道	札幌厚別	全	普通	6	0	-6	6学級→7学級
		道	札幌あすかぜ	全	普通	7	8	+1	7学級→8学級
	(小計)			2校					+2
H26	-								
計			8校					+8 (+320)	

(2) 学級減

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H24	釧路	道	阿寒	全	普通	2	1	-1	2学級→1学級
	(小計)			1校					-1
H25	胆振西	道	室蘭清水丘	全	普通	5	4	-1	5学級→4学級
		道	虻田	全	商業	1	0	-1	2学級→1学級
	オホーツク中	道	北見緑陵	全	普通	5	4	-1	5学級→4学級
	十勝	道	帯広緑陽	全	普通	5	4	-1	5学級→4学級
	(小計)			4校					-4

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H 2 6	石 狩	道	大 麻	全	普 通	8	7	-1	8学級→7学級
		道	野 幌	全	普 通	8	7	-1	8学級→7学級
		道	恵 庭 北	全	普 通	8	7	-1	8学級→7学級
	後 志	道	小 樽 潮 陵	全	普 通	7	6	-1	7学級→6学級
	胆 振 東	道	苫 小 牧 東	全	普 通	7	6	-1	7学級→6学級
	渡 島	道	函 館 稜 北	全	普 通	4	3	-1	4学級→3学級
	釧 路	道	白 糠	全	普 通	3	2	-1	3学級→2学級
		(小計)	7校					-7	
		計	12校					-12 (-480)	

(2) 新設(学校名の前の※印は、平成22年度に決定した配置計画からの変更。)

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H 2 4	空 知 南	市	※三 笠	全	食物調理	0	1	+1	0学級→1学級
			(小計)	1校				+1	
H 2 5								-	
H 2 6								-	
			計					+1 (+40)	

(3) 再編整備

① 再編統合

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H 2 4	日 高	道	浦河(母体校)	全	普 通	4	0	-4	4学級→0学級
		道	様 似	全	商 業	1	0	-1	1学級→0学級
		道	新 設 校	全	総 合	0	4	+4	0学級→4学級
		(小計)	再編に伴う募停校2校、再編統合による新設校1校					-1 (5学級の減、新設校で4学級の増)	
H 2 5	石 狩	道	札幌篠路(母体校)	全	普 通	7	0	-7	7学級→0学級
		道	札幌拓北	全	普 通	7	0	-7	7学級→0学級
		道	札幌北区新設校	全	普 通	0	8	+8	0学級→8学級
		(小計)	再編に伴う募停校2校、再編統合による新設校1校					-6 (14学級の減、新設校で8学級の増)	
H 2 6								-	
			計					-7 (-280)	

*再編に伴う新設校は(母体校)と表示した校舎を活用する。

② 募集停止

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	1学年総学級数
						実施前	実施後		
H 2 4	-								
H 2 5	空 知 北	道	赤 平	全	普 通	1	0	- 1	1学級→0学級
	渡 島	道	戸 井	全	普 通	1	0	- 1	1学級→0学級
	(小計)		2校					- 2	
H 2 6	渡 島	道	熊 石	全	普 通	1	0	- 1	1学級→0学級
	(小計)		1校					- 1	
計			3校					- 3 (- 1 2 0)	

(4) 地域キャンパス校の導入(学校名の前の※印は、平成22年度に決定した配置計画からの変更。)

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数	センター校	備 考	
H 2 4	オホーツク中	道	※津 別	全	普 通	1	美 幌	-	
	(小計)		1校				1校		
H 2 5	釧 路	道	阿 寒	全	普 通	1	釧路湖陵	-	
	(小計)		1校				1校		
H 2 6	-								
計			2校				2校		

(5) 総合学科の設置

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	募集学級数	備 考
H 2 4	日 高	道	新 設 校	全	4	浦河・様似の再編
	(小計)		1校			
H 2 5	石 狩	道	札幌厚別	全	7	普通科から総合学科に転換
	(小計)		1校			
H 2 6	-					
計			2校			

(6) 普通科単位制の導入

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課程	募集学級数	備 考
H 2 4	石 狩	道	大 麻	全	8	
	(小計)		1校			
H 2 5	石 狩	道	札幌東陵	全	8	札幌篠路・札幌拓北の再編
		道	札幌北区新設校	全	8	
	上 川 南	道	富 良 野	全	4	
	(小計)		3校			
H 2 6	-					
計			4校			

◎ 平成24～26年度高校配置計画／定時制課程

実施年度	学 区	設置	学 校 名	課 程	学 科 (学科名は小学科)	募集学級数		学級増減数	備 考
						実施前	実施後		
H 2 4	—								
H 2 5	—								
H 2 6	上 川 南	道	旭 川 工 業	定	建 築	1	0	- 1	
					土 木	1	0	- 1	
					建築・土木科	0	1	+ 1	
	(小計)		1 校					- 1	
計			1 校					- 1 (- 4 0)	

5 中学校卒業者の推計及び推移

中学校卒業者推計表（23年推計）

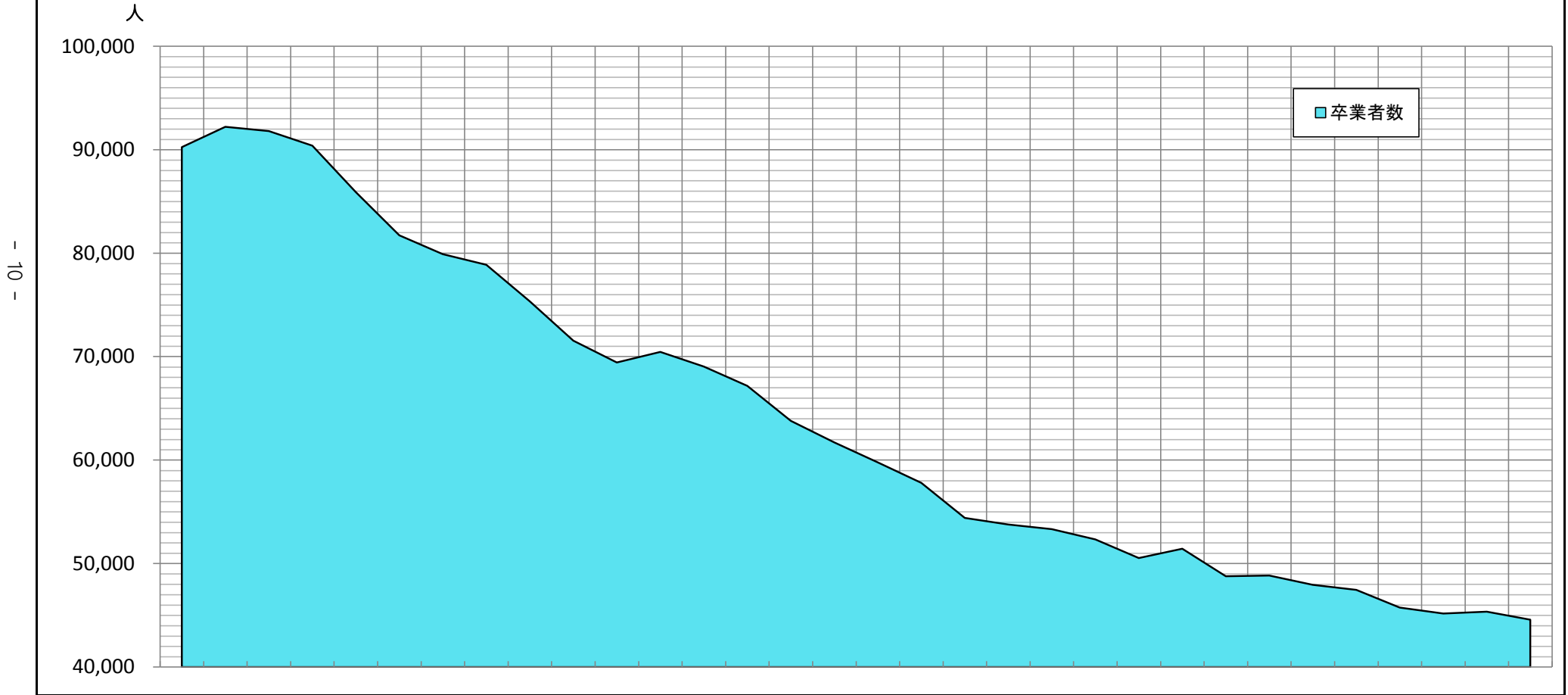
	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
空知南	1,607	1,519 ▲ 88	1,491 ▲ 28	1,496 +5	1,378 ▲ 118	1,301 ▲ 77	1,270 ▲ 31	1,273 +3
空知北	1,296	1,226 ▲ 70	1,218 ▲ 8	1,196 ▲ 22	1,174 ▲ 22	1,141 ▲ 33	1,146 +5	1,017 ▲ 129
石 狩	20,709	20,847 +138	20,654 ▲ 193	20,423 ▲ 231	19,739 ▲ 684	19,554 ▲ 185	19,706 +152	19,495 ▲ 211
後 志	1,873	1,873 ±0	1,909 +36	1,804 ▲ 105	1,711 ▲ 93	1,681 ▲ 30	1,699 +18	1,666 ▲ 33
胆 振 西	1,680	1,737 +57	1,611 ▲ 126	1,636 +25	1,617 ▲ 19	1,554 ▲ 63	1,640 +86	1,577 ▲ 63
胆 振 東	2,028	1,980 ▲ 48	1,955 ▲ 25	1,874 ▲ 81	1,903 +29	1,832 ▲ 71	1,869 +37	1,891 +22
日 高	712	696 ▲ 16	684 ▲ 12	647 ▲ 37	576 ▲ 71	643 +67	598 ▲ 45	579 ▲ 19
渡 島	3,809	3,836 +27	3,790 ▲ 46	3,678 ▲ 112	3,602 ▲ 76	3,471 ▲ 131	3,363 ▲ 108	3,343 ▲ 20
檜 山	344	364 +20	350 ▲ 14	333 ▲ 17	310 ▲ 23	313 +3	308 ▲ 5	298 ▲ 10
上 川 南	3,943	3,944 +1	3,837 ▲ 107	3,894 +57	3,883 ▲ 11	3,809 ▲ 74	3,902 +93	3,704 ▲ 198
上 川 北	584	612 +28	589 ▲ 23	596 +7	527 ▲ 69	498 ▲ 29	564 +66	563 ▲ 1
留 萌	422	409 ▲ 13	418 +9	398 ▲ 20	363 ▲ 35	347 ▲ 16	347 ±0	335 ▲ 12
宗 谷	557	611 +54	527 ▲ 84	560 +33	545 ▲ 15	548 +3	547 ▲ 1	579 +32
オホーツク中	1,544	1,511 ▲ 33	1,505 ▲ 6	1,433 ▲ 72	1,408 ▲ 25	1,368 ▲ 40	1,340 ▲ 28	1,382 +42
オホーツク東	616	579 ▲ 37	637 +58	589 ▲ 48	570 ▲ 19	586 +16	553 ▲ 33	558 +5
オホーツク西	607	605 ▲ 2	632 +27	605 ▲ 27	532 ▲ 73	572 +40	525 ▲ 47	514 ▲ 11
十 勝	3,370	3,443 +73	3,175 ▲ 268	3,418 +243	3,197 ▲ 221	3,199 +2	3,110 ▲ 89	3,102 ▲ 8
釧 路	2,267	2,238 ▲ 29	2,175 ▲ 63	2,118 ▲ 57	1,996 ▲ 122	2,016 +20	2,062 +46	1,972 ▲ 90
根 室	810	815 +5	790 ▲ 25	762 ▲ 28	716 ▲ 46	740 +24	803 +63	729 ▲ 74
合 計	48,778	48,845 +67	47,947 ▲ 898	47,460 ▲ 487	45,747 ▲ 1,713	45,173 ▲ 574	45,352 +179	44,577 ▲ 775

※中学校卒業者数は、平成23年5月1日現在の小学校1年生から中学校3年生までの在籍児童・生徒数を基に、過去の社会的増減等を勘案した推計値。

※平成23年は実数、平成24年以降の上段は中卒者数、下段は前年比増減。

北海道における中学校卒業（見込）者の推移
（昭和62年～平成30年）

(注) 1 昭和62年3月～平成23年3月は実卒業者数である。
2 平成24年3月～平成30年3月は学校基本調査（平成23年5月1日現在）に準じた調査による在籍児童・生徒数を基に推計した。



年	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
卒業者数	90,257	92,222	91,810	90,400	85,909	81,733	79,911	78,884	75,348	71,550	69,441	70,462	69,047	67,180	63,800	61,714	59,783	57,804	54,415	53,778	53,330	52,339	50,537	51,437	48,778	48,845	47,947	47,460	45,747	45,173	45,352	44,577
増減	1,298	1,965	-412	-1,410	-4,491	-4,176	-1,822	-1,027	-3,536	-3,798	-2,109	1,021	-1,415	-1,867	-3,380	-2,086	-1,931	-1,979	-3,389	-637	-448	-991	-1,802	900	-2,659	67	-898	-487	-1,713	-574	179	-775

Ⅲ 公立高等学校配置計画（平成24年度～平成26年度）学区別個表

空知南学区高校配置計画										
区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23	
学区内中卒者数	1,607	1,519	1,491	1,496	1,378	1,301	1,270	1,273	▲ 334	
対前年増減		▲ 88	▲ 28	+ 5	▲ 118	▲ 77	▲ 31	+ 3		
岩見沢市中卒者数	(816)	(796)	(777)	(810)	(728)	(704)	(697)	(710)	▲ 106	
対前年増減		▲ 20	▲ 19	+ 33	▲ 82	▲ 24	▲ 7	+ 13		
美唄市中卒者数	(236)	(206)	(208)	(201)	(182)	(183)	(172)	(174)	▲ 62	
対前年増減		▲ 30	+ 2	▲ 7	▲ 19	+ 1	▲ 11	+ 2		
三笠市中卒者数	(57)	(57)	(68)	(62)	(48)	(49)	(50)	(43)	▲ 14	
対前年増減		± 0	+ 11	▲ 6	▲ 14	+ 1	+ 1	▲ 7		
夕張市中卒者数	(63)	(60)	(56)	(51)	(62)	(39)	(37)	(39)	▲ 24	
対前年増減		▲ 3	▲ 4	▲ 5	+ 11	▲ 23	▲ 2	+ 2		
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
岩見沢東	6		6	-1		普▲1→0 (計画変更)		○4年間で5～6学級相当の調整が必要 ○岩見沢市及び周辺町を含めた定員調整の検討が必要 ○小規模校において、欠員を生じていることから、配置のあり方を含めた検討が必要		
単 岩見沢西	4		4	6						
岩見沢農業		農 7	7	0						
*岩見沢緑陵	4	商 2	6	2						
総 美唄尚栄	5→4		4	12						
美唄聖華		看 2	2	0						
*三 笠			-	-	家+1 (計画変更)					
月 形	2		2	32						
夕 張	2		2	25						
長 沼	2		2	2						
栗 山	3		3	18						
南 幌	2		2	19						
12校 (含三笠)	30→ 29	11	40	115	家+1					

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。(以下同)

注2 学校名の「単」は全日制普通科単単位制、「総」は総合学科、「フ」はフィールド制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「中等」は中等教育学校、「地」は地域キャンパス校、「産」は産業キャンパス。(以下同)

注3 学校名の*は市町村立学校。(以下同)

注4 () は定時制課程(計欄には含まない、関係学校のみ表示)。(以下同)

注5 平成23年度募集学級数の「→」表示は、第2次募集後の学級減を実施したことを示す。(以下同)

注6 「平成27～30年度までの見通し」欄の学級数の調整については平成30年度と平成26年度の中卒者数の比較により算出。(以下同)

空知北学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23	
学区内中卒者数	1,296	1,226	1,218	1,196	1,174	1,141	1,146	1,017	▲ 279	
対前年増減		▲ 70	▲ 8	▲ 22	▲ 22	▲ 33	+ 5	▲ 129		
滝川市中卒者数	(383)	(389)	(364)	(373)	(356)	(350)	(352)	(320)	▲ 63	
対前年増減		+ 6	▲ 25	+ 9	▲ 17	▲ 6	+ 2	▲ 32		
砂川市中卒者数	(157)	(145)	(148)	(168)	(149)	(158)	(159)	(138)	▲ 19	
対前年増減		▲ 12	+ 3	+ 20	▲ 19	+ 9	+ 1	▲ 21		
歌志内市中卒者数	(30)	(25)	(24)	(26)	(20)	(21)	(33)	(21)	▲ 9	
対前年増減		▲ 5	▲ 1	+ 2	▲ 6	+ 1	+ 12	▲ 12		
芦別市中卒者数	(136)	(117)	(114)	(118)	(125)	(100)	(107)	(92)	▲ 44	
対前年増減		▲ 19	▲ 3	+ 4	+ 7	▲ 25	+ 7	▲ 15		
赤平市中卒者数	(92)	(79)	(76)	(83)	(76)	(82)	(83)	(74)	▲ 18	
対前年増減		▲ 13	▲ 3	+ 7	▲ 7	+ 6	+ 1	▲ 9		
深川市中卒者数	(202)	(175)	(196)	(159)	(165)	(166)	(173)	(140)	▲ 62	
対前年増減		▲ 27	+ 21	▲ 37	+ 6	+ 1	+ 7	▲ 33		
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計					○4年間で4～5学級相当の調整が必要 ○滝川市内において、市立高校を含めた高校配置のあり方について検討が必要 ○2学科以上を設置し、欠員の生じている学校について、学科の見直しや定員調整の検討が必要		
滝川	6		6	12						
滝川工業		工 2	2	19						
*滝川西	3	商 4	7	0						
単砂川	4		4	11						
奈井江商業		商 2	2	49						
新十津川農業		農 1	1	2						
芦別	4	商 1	5	54						
赤平	1		1	12		普▲1				
深川西	4		4	25						
深川東		農・ 商 4	4	53						
10校	22	14	36	237		普▲1				

石狩学区高校配置計画

	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23	
石狩学区中卒者数	20,709	20,847	20,654	20,423	19,739	19,554	19,706	19,495	▲ 1,214	
対前年増減		+ 138	▲ 193	▲ 231	▲ 684	▲ 185	+ 152	▲ 211		
札幌市中卒者数	(16,196)	(16,331)	(16,092)	(16,039)	(15,545)	(15,284)	(15,476)	(15,342)	▲ 854	
対前年増減		+ 135	▲ 239	▲ 53	▲ 494	▲ 261	+ 192	▲ 134		
江別市中卒者数	(1,439)	(1,412)	(1,417)	(1,282)	(1,288)	(1,265)	(1,226)	(1,214)	▲ 225	
対前年増減		▲ 27	+ 5	▲ 135	+ 6	▲ 23	▲ 39	▲ 12		
千歳市中卒者数	(932)	(913)	(934)	(953)	(878)	(894)	(931)	(969)	37	
対前年増減		▲ 19	+ 21	+ 19	▲ 75	+ 16	+ 37	+ 38		
恵庭市中卒者数	(665)	(727)	(766)	(686)	(663)	(727)	(693)	(687)	22	
対前年増減		+ 62	+ 39	▲ 80	▲ 23	+ 64	▲ 34	▲ 6		
北広島市中卒者数	(663)	(675)	(631)	(685)	(688)	(660)	(695)	(650)	▲ 13	
対前年増減		+ 12	▲ 44	+ 54	+ 3	▲ 28	+ 35	▲ 45		
石狩市中卒者数	(551)	(549)	(572)	(554)	(477)	(539)	(505)	(462)	▲ 89	
対前年増減		▲ 2	+ 23	▲ 18	▲ 77	+ 62	▲ 34	▲ 43		
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
札幌東	8		8	-2				○4年間で15～16学級相当の調整が必要 ○札幌市内については、中卒者数の減にあわせて生徒急増期に新設した高校を中心に再編の検討が必要		
札幌西	8		8	-1						
札幌南	8		8	-2						
札幌北	8		8	-3						
札幌月寒	8		8	-3						
札幌啓成	8		8	-3						
札幌北陵	8		8	0						
単 札幌手稲	8		8	1						
フ 札幌丘珠	8		8	-1						
札幌西陵	8		8	-4						
単 札幌白石	8		8	-2						
札幌東陵	8		8	-1		普通科単位制導入				
札幌南陵	6		6	-2						
札幌東豊	8		8	-1						
札幌厚別	6		6	-2		普▲6 総合学科設置 総+7				
札幌真栄	6		6	-1						
フ 札幌あすかぜ	7		7	0		普+1				
札幌稲雲	7		7	-1						
フ 札幌平岡	8		8	0						

学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し	摘要
	普通	職業	計						
札幌篠路	7		7	-3		普▲7			母体校
札幌拓北	7		7	-1		普▲7			
新設校						普+8 普通科単位制導入			
単 札幌白陵	4		4	1					
札幌国際情報	4	工・商 4	8	-2					
江 別	5	商・家 3	8	0					
フ 野 幌	8		8	-3			普▲1		
大 麻	8		8	-1	普通科単位制導入		普▲1		
千 歳	7	商 2	9	-2					
フ 千歳北陽	8		8	-2					
単 北 広 島	8		8	-3					
北広島西	8		8	0					
石 狩 南	8		8	0					
当 別	3	農・家 2	5	5					
恵 庭 南	8		8	-3					
恵 庭 北	8		8	-2			普▲1		
札幌工業		工 8	8	-2					
札幌琴似工業		工 8	8	-2					
札幌東商業		商 8	8	0					
総 石狩翔陽	8		8	-1					
単 *札幌旭丘	8		8	-5					
*札幌藻岩	8		8	-1					
*札幌平岸	8		8	-2					
*札幌清田	8		8	-1					
*札幌開成	8		8	-3					
*札幌新川	8		8	-1					
*札幌啓北商業		商 6	6	0					
45校	301	41	342	-62		普▲20 普+9、総+7	普▲3		

後志学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23		
学区内中卒者数	1,873	1,873	1,909	1,804	1,711	1,681	1,699	1,666	▲ 207		
対前年増減		± 0	+ 36	▲ 105	▲ 93	▲ 30	+ 18	▲ 33			
小樽市中卒者数	(1,029)	(988)	(1,049)	(967)	(928)	(910)	(892)	(911)	▲ 118		
対前年増減		▲ 41	+ 61	▲ 82	▲ 39	▲ 18	▲ 18	+ 19			
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要	
	普通	職業	計								
小樽潮陵	7		7	0			普▲1	○4年間で2～3学級相当の調整が必要 ○小樽市内について、職業学科の配置のあり方を含めた再編の検討が必要 ○小規模校において、欠員を生じていることから、配置のあり方を含めた検討が必要			
単 小樽桜陽	6		6	0							
小樽商業		商 3	3	0							
小樽工業		工 3	3	0							
小樽水産		水 4	4	0							
総 余市紅志	4→2		2	10	総+1 (計画変更)						H23二次募集 後学級減
岩 内	3	商 1	4	13							寿都の センター校
地 寿 都	1		1	11							
共 和	1		1	23							
単 倶 知 安	4		4	21							蘭越の センター校
地 蘭 越	1		1	17							
倶知安農業		農 1	1	10							
12校	27→ 25	12	37	105	総+1		普▲1				

胆振西学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23	
学区内中卒者数	1,680	1,737	1,611	1,636	1,617	1,554	1,640	1,577	▲ 103	
対前年度増減		+ 57	▲ 126	+ 25	▲ 19	▲ 63	+ 86	▲ 63		
室蘭市中卒者数	(738)	(737)	(704)	(726)	(710)	(683)	(733)	(710)	▲ 28	
対前年度増減		▲ 1	▲ 33	+ 22	▲ 16	▲ 27	+ 50	▲ 23		
登別市中卒者数	(515)	(497)	(492)	(476)	(459)	(451)	(489)	(442)	▲ 73	
対前年度増減		▲ 18	▲ 5	▲ 16	▲ 17	▲ 8	+ 38	▲ 47		
伊達市中卒者数	(286)	(341)	(298)	(300)	(311)	(304)	(299)	(295)	9	
対前年度増減		+ 55	▲ 43	+ 2	+ 11	▲ 7	▲ 5	▲ 4		
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
室 蘭 栄	6		6	-1				○4年間で1～2学級相当の調整が必要 ○伊達市内及び周辺町村における再編を含めた定員調整の検討が必要		
単 室蘭清水丘	5		5	6		普▲1				
総 室蘭東翔	5		5	0						
室蘭工業		工 5	5	-4						
登別青嶺	4		4	0						
中 登別明日	2		2	2						
伊 達	4		4	2						
伊達緑丘	4		4	13						
虻 田		商 2	2	37		商▲1				
*洞 爺		家 1	1	23						
*壮 瞥		農 1	1	25						
11校	30	9	39	103		普▲1、商▲1				

胆振東学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23		
学区内中卒者数	2,028	1,980	1,955	1,874	1,903	1,832	1,869	1,891	▲ 137		
対前年度増減		▲ 48	▲ 25	▲ 81	+ 29	▲ 71	+ 37	+ 22			
苫小牧市中卒者数	(1,633)	(1,611)	(1,581)	(1,526)	(1,578)	(1,505)	(1,583)	(1,588)	▲ 45		
対前年度増減		▲ 22	▲ 30	▲ 55	+ 52	▲ 73	+ 78	+ 5			
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要	
	普通	職業	計					○4年間で0～1学級相当の調整が必要 ○小規模校において、欠員を生じていることから、配置のあり方を含めた検討が必要		厚真のセンター校	
苫小牧東	7		7	0			普▲1				穂別のセンター校
苫小牧西	4		4	0							
単 苫小牧南	5		5	1							
苫小牧工業		工 6	6	1							
苫小牧総合経済		商 4	4	-1							
白老東	3		3	0							
地 厚 真	1		1	0							
地 穂 別	1		1	5							
追 分	1		1	9							
中高 鷗 川	2		2	12							
10校	24	10	34	27			普▲1				

日高学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23	
学区内中卒者数	712	696	684	647	576	643	598	579	▲ 133	
対前年度増減		▲ 16	▲ 12	▲ 37	▲ 71	+ 67	▲ 45	▲ 19		
浦河町中卒者数	(131)	(125)	(130)	(124)	(130)	(129)	(100)	(115)	▲ 16	
対前年増減		▲ 6	+ 5	▲ 6	+ 6	▲ 1	▲ 29	+ 15		
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し	摘要	
	普通	職業	計							
単 静 内	5		5	0				○4年間で1～2学級相当の調整が必要 ○小規模校において、欠員を生じていることから、配置のあり方を含めた検討が必要	平取のセンター校	
静内農業		農 2	2	0						
富 川	1	商 1	2	39						
地 平 取	1		1	0						
浦 河	4		4	39	普▲4					母体校
様 似		商 1	1	21	商▲1					
新 設 校					総合学科設置 総+4					
中高 *えりも	2		2	42						
7校	13	4	17	141	普▲4、商▲1 総+4					

渡島学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23	
学区内中卒者数	3,809	3,836	3,790	3,678	3,602	3,471	3,363	3,343	▲ 466	
対前年増減		+ 27	▲ 46	▲ 112	▲ 76	▲ 131	▲ 108	▲ 20		
函館市中卒者数	(2,449)	(2,364)	(2,404)	(2,293)	(2,297)	(2,221)	(2,166)	(2,104)	▲ 345	
対前年増減		▲ 85	+ 40	▲ 111	+ 4	▲ 76	▲ 55	▲ 62		
北斗市中卒者数	(487)	(538)	(514)	(523)	(491)	(468)	(464)	(501)	14	
対前年増減		+ 51	▲ 24	+ 9	▲ 32	▲ 23	▲ 4	+ 37		
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
函館中部	6		6	6				○4年間で5～6学級相当の調整が必要 ○函館市内の再編について早急な検討が必要 ○小規模校の再編を含めた配置のあり方について検討が必要 ○地域キャンパス校について、新たな指針に示した人数要件に該当し、その後も生徒数の増が見込まれない場合は、再編整備の検討が必要 ○定時制課程の配置のあり方について検討が必要		南茅部のセンター校
函館西	4		4	0						
函館稜北	4		4	0			普▲1			
単 *市立函館	8		8	0						
函館水産		水 4	4	0						
函館商業		商 5	5	0						
函館工業		工 6	6	0						
戸井	1		1	27		普▲1				
地 南茅部	1		1	18						
上磯	2		2	0						
七飯	3		3	0						
大野農業		農 4	4	31						
松前	2→1		1	4	普+1 (計画変更)					
*知内	2		2	26						
地 福島商業		商 1	1	25						
八雲	3	商 1	4	30						
地 熊石	1		1	29			普▲1			
総森	4→3		3	20	総+1 (計画変更)					
中高 長万部	1		1	12	中高一貫教育終了					
19校	42→40	21	61	228	普+1、総+1	普▲1	普▲2			

檜山学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23
学区内中卒者数	344	364	350	333	310	313	308	298	▲ 46
対前年増減		+ 20	▲ 14	▲ 17	▲ 23	+ 3	▲ 5	▲ 10	
江差町中卒者数	(69)	(81)	(76)	(60)	(57)	(59)	(62)	(69)	0
対前年増減		+ 12	▲ 5	▲ 16	▲ 3	+ 2	+ 3	+ 7	
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し	摘要
	普通	職業	計						
単 江 差	3		3	17				○4年間で0～1学級相当の調整が必要	
上ノ国	1		1	1					
総 檜 山 北	3		3	25					
奥 尻	1		1	23					
4校	8	0	8	66					

上川南学区高校配置計画

上川南学区高校配置計画												
区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23			
学区内中卒者数	3,943	3,944	3,837	3,894	3,883	3,809	3,902	3,704		▲ 239		
対前年度増減		+ 1	▲ 107	+ 57	▲ 11	▲ 74	+ 93	▲ 198				
旭川市中卒者数	(3,017)	(2,945)	(2,885)	(2,980)	(2,884)	(2,864)	(2,969)	(2,763)		▲ 254		
対前年度増減		▲ 72	▲ 60	+ 95	▲ 96	▲ 20	+ 105	▲ 206				
富良野市中卒者数	(250)	(237)	(222)	(245)	(235)	(217)	(214)	(226)		▲ 24		
対前年度増減		▲ 13	▲ 15	+ 23	▲ 10	▲ 18	▲ 3	+ 12				
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し			摘要	
	普通	職業	計					○4年間で3～4学級相当の調整が必要 ○旭川市内の再編について早急な検討が必要 ○旭川市や富良野市の周辺町村の小規模校の配置のあり方を含めた検討が必要				
旭川東	7		7	0								
旭川西	6		6	0								
単旭川北	6		6	-2								
総旭川南	6		6	-3								
旭川凌雲	5		5	-1								
旭川東栄	4		4	1								
旭川商業		商 6	6	0								
旭川工業		工 7	7	0								
(旭川工業)		(工3)	(3)	-			[工▲1] [学科転換]					
旭川農業		農 4	4	-2								
鷹 栖	1		1	0								
東 川	2		2	0								
美 瑛	2		2	29								
中高 上 川	2		2	36								
富 良 野	4		4	9		普通科単位制導入						
富良野緑峰		農 工 商 4	4	14								
上富良野	1		1	13								
*南富良野	1		1	9								
17校	47	21	68	103								

上川北学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23	
学区内中卒者数	584	612	589	596	527	498	564	563	▲ 21	
対前年度増減		+ 28	▲ 23	+ 7	▲ 69	▲ 29	+ 66	▲ 1		
士別市中卒者数	(189)	(209)	(202)	(177)	(190)	(159)	(171)	(175)	▲ 14	
対前年度増減		+ 20	▲ 7	▲ 25	+ 13	▲ 31	+ 12	+ 4		
名寄市中卒者数	(259)	(246)	(239)	(258)	(208)	(228)	(252)	(262)	3	
対前年度増減		▲ 13	▲ 7	+ 19	▲ 50	+ 20	+ 24	+ 10		
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計					○4年間で0～1学級相当の調整が必要		
士別翔雲	3	商 1	4	6	普+1 (計画変更)					下川商業の センター校
地 下川商業		商 1	1	0						
名 寄	4		4	19						美深の センター校
地 美 深	1		1	14						
産 名寄産業		工 農 家	4	4	47					
総 *剣 淵	1		1	10						
*おといねっぶ 美術工芸	1		1	0						
7校	10	6	16	96	普+1					

留萌学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23	
学区内中卒者数	422	409	418	398	363	347	347	335	▲ 87	
対前年度増減		▲ 13	+ 9	▲ 20	▲ 35	▲ 16	± 0	▲ 12		
留萌市中卒者数	(194)	(194)	(189)	(178)	(161)	(162)	(158)	(132)	▲ 62	
対前年度増減		± 0	▲ 5	▲ 11	▲ 17	+ 1	▲ 4	▲ 26		
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計					○4年間で1～2学級相当の調整が必要 ○留萌市内において再編の検討が必要		苫前商業の センター校
留 萌	4		4	25						
留萌千望		商・ 工 2	2	3						
羽 幌	2		2	4						
地 苫前商業		商 1	1	12						
天 塩	2		2	27						
遠別農業		農 1	1	19						
6校	8	4	12	90						

宗谷学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23	
学区内中卒者数	557	611	527	560	545	548	547	579	22	
対前年度増減		+ 54	▲ 84	+ 33	▲ 15	+ 3	▲ 1	+ 32		
稚内市中卒者数	(265)	(302)	(292)	(307)	(307)	(303)	(282)	(323)	58	
対前年度増減		+ 37	▲ 10	+ 15	± 0	▲ 4	▲ 21	+ 41		
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
稚 内	4	商・ 看 2	6	26					○4年間で0～1学級相当の調整が必要 ○離島にある高校について、新たな指針に示した人数要件に該当し、その後も生徒数の増が見込まれない場合は、再編整備の検討が必要	豊富の センター校
地 豊 富	1		1	12						
浜 頓 別	2		2	29						
枝 幸	2		2	14						
利 尻	1	商 1	2	51						
礼 文	1		1	38						
6校	11	3	14	170						

オホーツク中学区高校配置計画

オホーツク中学区高校配置計画											
区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23		
学区内中卒者数	1,544	1,511	1,505	1,433	1,408	1,368	1,340	1,382	▲ 162		
対前年度増減		▲ 33	▲ 6	▲ 72	▲ 25	▲ 40	▲ 28	+ 42			
北見市中卒者数	(1,163)	(1,194)	(1,108)	(1,086)	(1,072)	(1,007)	(1,041)	(1,046)	▲ 117		
対前年度増減		+ 31	▲ 86	▲ 22	▲ 14	▲ 65	+ 34	+ 5			
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要	
	普通	職業	計								
北見北斗	6		6	-1				○4年間で1～2学級相当の調整が必要 ○北見市内の学校・学科の配置のあり方を含めた定員調整の検討が必要 ○小規模校において、欠員を生じていることから、配置のあり方を含めた検討が必要		常呂の センター校	
単 北見柏陽	6		6	1							
フ 北見緑陵	5		5	-1		普▲1					
北見工業		工 4	4	16							
北見商業		商 4	4	-1							
置 戸		福 1	1	9							
総 留 辺 薬	2		2	24							
佐 呂 間	2		2	32							
地 常 呂	1		1	14							
訓 子 府	1		1	13							
津 別	2→1		1	9	地域キャンパス校化 (計画変更)						H23二次募集 後学級減
美 幌	2	農 2	4	13							津別の センター校
12校	27→ 26	11	37	128		普▲1					

オホーツク東学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23	
学区内中卒者数	616	579	637	589	570	586	553	558	▲ 58	
対前年度増減		▲ 37	+ 58	▲ 48	▲ 19	+ 16	▲ 33	+ 5		
網走市中卒者数	(341)	(311)	(354)	(332)	(326)	(330)	(334)	(314)	▲ 27	
対前年度増減		▲ 30	+ 43	▲ 22	▲ 6	+ 4	+ 4	▲ 20		
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計							
単 網走南ヶ丘	5		5	27				○4年間で0～1学級相当の調整が必要 ○斜里郡3町による高校配置のあり方について検討が必要 ○小規模校において、欠員を生じていることから、配置のあり方を含めた検討が必要	清里の センター校	
網走桂陽	2	商 2	4	6						
女 満 別	2→1		1	11					H23二次募集 後学級減	
総 斜 里	3		3	32						
地 清 里	1		1	13						
小 清 水	1		1	11						
6校	14→ 13	2	15	100						

オホーツク西学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23	
学区内中卒者数	607	605	632	605	532	572	525	514	▲ 93	
対前年度増減		▲ 2	+ 27	▲ 27	▲ 73	+ 40	▲ 47	▲ 11		
紋別市中卒者数	(196)	(194)	(197)	(205)	(173)	(191)	(177)	(161)	▲ 35	
対前年度増減		▲ 2	+ 3	+ 8	▲ 32	+ 18	▲ 14	▲ 16		
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数 普通 職業 計			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要
単 遠 軽	5		5	-1				○4年間で2～3学級相当の調整が必要 ○小規模校において、欠員を生じていることから、配置のあり方を含めた検討が必要 ○地域キャンパス校について、新たな指針に示した人数要件に該当し、その後も生徒数の増が見込まれない場合は、再編整備の検討が必要		興部の センター校
紋 別	3	商・ 工 2	5	28						
地 興 部	1		1	25						
滝 上	1		1	18						
雄 武	2→1		1	3						H23二次募集 後学級減
中 高 湧 別	2		2	20						
6校	14→ 13	2	15	93						

十勝学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23		
学区内中卒者数	3,370	3,443	3,175	3,418	3,197	3,199	3,110	3,102	▲ 268		
対前年度増減		+ 73	▲ 268	+ 243	▲ 221	+ 2	▲ 89	▲ 8			
帯広市中卒者数	(1,612)	(1,622)	(1,503)	(1,586)	(1,478)	(1,451)	(1,379)	(1,376)	▲ 236		
対前年度増減		+ 10	▲ 119	+ 83	▲ 108	▲ 27	▲ 72	▲ 3			
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要	
	普通	職業	計								
帯広柏葉	7		7	0				○4年間で6～7学級相当の調整が必要 ○小規模校において、欠員を生じていることから、配置のあり方を含めた検討が必要 ○昼間定時制のあり方について検討が必要			
単 帯広三条	7		7	0							
帯広緑陽	5		5	-1		普▲1					
帯広工業		工 4	4	0							
帯広農業		農 5	5	4							
*帯広南商業		商 5	5	1							
音 更	4		4	-1							
芽 室	4		4	0							
幕 別	2		2	20							
上 士 幌	2		2	8							
*士 幌		農 2	2	19							
総 清 水	4		4	1							
新 得	2→1		1	1		普▲1→0 (計画変更)					H23二次募集 後学級減
中高 鹿 追	2		2	22							
更別農業		農 2	2	31							
大 樹	2		2	30							
中高 広 尾	2		2	27							
総 池 田	3		3	38							
本 別	2		2	13							
足 寄	2→1		1	2		普+1 (計画変更)			H23二次募集 後学級減		
20校	50→ 48	18	66	215	普+1	普▲1					

釧路学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23		
学区内中卒者数	2,267	2,238	2,175	2,118	1,996	2,016	2,062	1,972	▲ 295		
対前年度増減		▲ 29	▲ 63	▲ 57	▲ 122	+ 20	+ 46	▲ 90			
釧路市中卒者数	(1,613)	(1,594)	(1,565)	(1,515)	(1,454)	(1,432)	(1,522)	(1,424)	▲ 189		
対前年度増減		▲ 19	▲ 29	▲ 50	▲ 61	▲ 22	+ 90	▲ 98			
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数			H23 欠員	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要	
	普通	職業	計					○4年間で3～4学級相当の調整が必要 ○釧路市内及び周辺町村を含めた配置のあり方について検討が必要		阿寒のセンター校	
釧路湖陵	6		6	-2							
単 釧路江南	6		6	-2							
釧路商業		商 5	5	0							
釧路工業		工 6	6	1							
総 釧路明輝	5		5	1							
フ *釧路北陽	6		6	-1							
釧路東	4		4	1							
阿 寒	2		2	31	普▲1	地域キャンパス校化					
白 糠	3		3	13			普▲1				
総 標 茶	3→2		2	5	総+1 (計画変更)						H23二次募集 後学級減
弟 子 屈	2		2	24							
厚岸翔洋	1	水 1	2	11							
*霧 多 布	2		2	26							
13校	40→ 39	12	51	108	普▲1、総+1		普▲1				

根室学区高校配置計画

区 分	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H30-H23	
学区内中卒者数	810	815	790	762	716	740	803	729	▲ 81	
対前年増減		+ 5	▲ 25	▲ 28	▲ 46	+ 24	+ 63	▲ 74		
根室市中卒者数	(279)	(278)	(276)	(267)	(211)	(263)	(252)	(218)	▲ 61	
対前年増減		▲ 1	▲ 2	▲ 9	▲ 56	+ 52	▲ 11	▲ 34		
学校名	平成23年度の状況 学科及び募集学級数				平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27～30年度までの見通し		摘要
	普通	職業	計	H23 欠員						
根 室	3	商 2	5	14				○4年間で0～1学級相当の調整が必要 ○根室市内について新しいタイプの高校の設置も含めた再編の検討が必要		
根 室 西	2		2	11						
別 海	3	農 1	4	47						
中 標 津	4	商 2	6	25						
標 津	2		2	14						
*中標津農業		農 2	2	61						
中 高 羅 臼	2		2	38						
7校	16	7	23	210						

《全学区共通事項》

平成24年度以降の各通学区域における生徒の進路動向を見極めて、平成24年度以降毎年度再検討するとともに、新たに計画に反映させるものとする。